



観光フォトコンテスト 3/6

自然や文化、歴史などまちの魅力が伝わる写真を募集し、PRポスターなどに活用しようと実施した『第1回新ひだか町観光フォトコンテスト』の入賞者が決まり、役場静内庁舎で表彰式が行われました。道内外の50人・167点の応募の中から優秀賞7点、入選8点、佳作9点が選ばれ、表彰式には、優秀賞に輝いた木村実さんと佐藤幾美さんの2人が、代表して表彰状を受け取りました。入賞作品は町公式ホームページで見ることができます。

<http://shinhidaka.hokkai.jp/>



ソフトテニス全国大会出場挨拶 3/9

ソフトテニス全国大会に出場を決めた5人が、役場静内庁舎を訪れ、酒井町長に健闘を誓いました。選手は、静内第三中2年の鏡さやかさん、島尻楓さんのペアと、高静小3年の松尾海音くん、東静内小3年の原颯哉くんのペア、高静小4年の山田愛莉朱さん。5人を代表して鏡さんと松尾くんが「監督やコーチに教わったことを生かして頑張りたい」と抱負を述べ、酒井町長は「体調を整え頑張ってきて下さい」とエールを送りました。



税のポスター入賞 3/13

『第26回全道中学生の税をテーマとしたポスター』で、三石中学校3年の木村文音さんが日高教育局長賞を受賞し、賞状と記念品が伝達されました。



心に残るふるさと坂道さがし 3/2

町の『心に残るふるさと坂道さがし事業』で名付けられた坂道に、坂の名前などが書かれた標柱が設置され、命名者に記念品が贈られました。町内の坂道に名前を付けて、愛着を持ってもらおうと平成22年度から実施しており、平成23年度は7箇所の坂道に名前が付けられました。この日、「みついがんばり坂」を名付けた三石小学校の子どもたちに記念品が贈られ、毎日通学している坂道で記念撮影をし、坂道の命名を喜びました。



第6回 公民館まつり 3/4

町内のサークルが作品展示やステージ発表を行う『第6回新ひだか町公民館まつり』が町公民館で開かれ、書道や絵画、ダンスなど約50団体が日ごろの活動の成果を披露しました。町女性団体連絡協議会の協力で行われる恒例のジャンボ桜ずし作りには、約380名が参加。ピンク色に染められた酢飯にしいたけなどを載せ、ていねいに巻き、最後に出来上がった約70mの巻きずしを全員で持ち上げ、完成を喜びました。



ソフトバレーフェスタ 3/11

『第6回新ひだか町ソフトバレーフェスタ』が三石中学校などで開かれ、小学生の部に7チーム、中学生以上の男女で編成する「混合の部」に22チームが出場し、熱戦を繰り広げました。



海拔表示の設置 2/24

町は、東日本大震災の津波による被害を教訓に、津波災害対策の一環として町内の街路灯など54箇所（静内地区35箇所、三石地区19箇所）に海拔表示を設置しました。海拔表示は、町民のみなさんに日ごろから地域の海拔を意識していただき、津波災害に対する警戒と防災意識を高め、津波がおそってきた時に迅速な避難ができるよう設置しました。



故・中西忠良さんに厚生労働大臣特別表彰 2/27

長年、町の民生委員・児童委員を務め1月2日に亡くなられた中西忠良さん（静内御幸町）に、酒井町長から厚生労働大臣特別表彰が伝達されました。中西さんは、昭和61年12月から亡くなるまでの25年1か月にわたり、民生委員・児童委員として地域住民の福祉向上に貢献されました。伝達式には、妻の迪子さんと長女の小田郁子さん、郁子さんの子が出席。酒井町長は中西さんの功績をたたえ、遺族に感謝の言葉を述べました。



ひなまつり会 3/3

静内図書館季節のおはなし会『ひなまつり会』が女性センター・みらいで開かれ、読み聞かせやひな人形の紙工作など、親子で楽しい時間を過ごしました。



さかなのさばき方講座 2/21・23

地場産魚介類の消費拡大を目的に『さかなのさばき方講座』（三石地域マリビジョン協議会主催）が女性センター・みらいと三石中学校で開かれ、23名が参加しました。講師の志田力さんからタラのさばき方のポイントを教わったあと、参加者も実際に挑戦。タラを使った和え物やかぶら蒸しなどの料理も紹介され、参加者は興味深く学んでいました。



空手全道大会で大活躍 2/19

深川市で開かれた空手の全道大会に、浜口道場の選手12名が出場し、中学男子の部で3年連続優勝を果たした山際東悟くん（三石中3年）をはじめ、4名が入賞する活躍を見せました。